

基本情報

| | |
|--------|----------------|
| 科目名 | 保健体育科教育法 |
| 時間割コード | 0440900101 |
| 開講所属 | 看護福祉学部鍼灸スポーツ学科 |
| ターム・学期 | 2023年度 第1学期 |
| 曜限 | 月 4 |
| 開講区分 | 第1学期 |
| 単位数 | 2.0 |
| 学年 | 3 |
| 主担当教員 | 國木 孝治 |
| 科目区分 | 卒業要件外の科目 要件外 |

担当教員情報

| |
|-------|
| 教員名 |
| 國木 孝治 |

詳細情報

| | |
|-------------------------|--|
| 授業の目的・到達目標 | <p>【授業の目的】 ・中学校及び高等学校における保健体育科教育の教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、『学習指導要領』に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて、具体的な授業場面を想定した授業設計を行うための基礎的な知識を身に付けることを目的とする。</p> <p>【到達目標】 (知識・技能) ・『学習指導要領』に示された中学校及び高等学校における保健体育科教育の学習内容を理解し、実践することができる。 (思考力・判断力・学びに向かう力) ・生徒の認識・思考、学力等の実態を視野に入れた保健体育科教育の重要性を理解したうえで、実践するための課題を探究し、問題を解決することができる。</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】 (全学DP) ・「こころ」豊かな人間性を培い、生涯に亘って専門性を追求し自己研鑽に努める能力を養う。 ・基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養しつつ、課題を探究し問題を解決できる能力を養う。 (学科DP) ・人間を身体的・精神的・社会的存在として統合的に理解することができる。 ・幅広い教養と高い倫理観・責任感を備えている。 ・科学的根拠に基づいた論理的思考と科学的に実践する方法論を身につけている。</p> |
| 履修上の注意事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・中・高教職（保健体育）履修者必修科目 ・遅刻・欠席をしないこと。 ・教員志望者として、ふさわしい態度と心構えで受講すること。 ・受け身にならず主体的に学ぶ姿勢で受講すること。 |
| 評価方法 | <p>2/3以上の出席者に対して定期試験を実施する。定期試験においては、授業内容の理解度を評価する。 なお、毎授業レポートの提出または小テストを実施し、知識理解のフィードバックを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習態度・意欲：（学びに向かう力・人間性）（30/100） ・課題解決力・レポート（思考力・判断力・表現力）：（30/100） ・試験考査：（知識・技能）（40/100） |
| テキスト | <ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省編（2017）中学校学習指導要領（平成29年公示）解説：保健体育編，東山書房． ・文部科学省編（2018）高等学校学習指導要領（平成30年公示）解説：保健体育編・体育編，東山書房． ・時事通信出版局編（2022）専門教養Build Upシリーズ 「中高保健体育の完全攻略」（2024年度版），時事通信出版局． |
| 参考文献 | <ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省編（2017）中学校学習指導要領（平成29年公示），東山書房． ・文部科学省編（2018）高等学校学習指導要領（平成30年公示），東山書房． ・杉山重利ほか編（2010）教師を目指す学生必携「保健体育科教育法」，大修館書店． ・岡出美則ほか編（2021）体育科教育学入門（三訂版），大修館書店． ・鈴木一行（2017）保健科教育法入門，大修館書店． ・久保健（2014）体育科教育法講義・資料集，創文企画． ・高橋健行（2007）体育授業を観察評価する，明和出版． |
| 実務経験のある教員による授業 | 有 |
| 実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容 | ・中学校及び高等学校勤務経験。 |

授業計画

中学校・高等学校における保健体育教育の目的・目標、役割を明らかにし、『学習指導要領』に基づく指導内容に焦点を当て授業を展開する。

| No. | 内容（担当） | 事前・事後学修 | 備考 |
|-----|--|---|---|
| 1 | 授業ガイダンス | （事前） シラバスを読んでおくこと（2時間） | ・授業の進め方、授業評価、学校教育に係る全体像の把握 ・学校の教科としての体育はなぜあるのか |
| 2 | 学校体育とは何か | 1) 近代体育史の外観 2) 近代日本の体育教師像と養成制度 3) 現代日本の学校体育 について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間） | |
| 3 | 保健体育科教育のカリキュラム | 1) カリキュラムの基礎・基本 2) 小・中・高の保健体育科教育のカリキュラム 3) 保健と体育を関連させた「からだの学習」の必要性 4) 「体育理論」の誕生と展開 5) 「からだづくり論」の誕生と展開 について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間） | ディスカッション グループワーク |
| 4 | 『学習指導要領』における今次の改定の要点 ・総則 | 1) 『学習指導要領』とは何か 2) 『学習指導要領』総則（中・高）について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間） | ディスカッション グループワーク |
| 5 | 『学習指導要領』における今次の改定の要点 ・体育の目標 ・保健の目標 | 1) 体育の目標（中・高） 2) 保健の目標（中・高）について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間） | ディスカッション グループワーク |
| 6 | 『学習指導要領』における今次の改定の要点 ・体育の指導計画 ・保健の指導計画 | ・『学習指導要領』に基づいた年間指導計画、単元計画、時間計画の立て方 1) 体育の指導計画（中・高） 2) 保健の指導計画（中・高）について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間） | ディスカッション グループワーク |

授業計画

中学校・高等学校における保健体育教育の目的・目標、役割を明らかにし、『学習指導要領』に基づく指導内容に焦点を当て授業を展開する。

| No. | 内容（担当） | 事前・事後学修 | 備考 |
|-----|------------------------------|--|--|
| 7 | 『学習指導要領』における今次の改定の要点 ・評価法 | 1) 評価の観点 2) 評価基準・評価設定の仕方（中・高） 3) 診断的評価 4) 形成的評価 5) 総括的評価 について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間） | ディスカッション グループワーク |
| 8 | 「体づくり運動」「器械運動」の授業づくり（中・高） | ・内容、教材、指導法、評価法、場の設定等の観点から、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間） | ディスカッション グループワーク プレゼンテーション 実習 |
| 9 | 「陸上競技」「水泳」の授業づくり（中・高） | ・内容、教材、指導法、評価法、場の設定等の観点から、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間） | ディスカッション グループワーク プレゼンテーション 実習 |
| 10 | 「球技」の授業づくり（中・高） | ・内容、教材、指導法、評価法、場の設定等の観点から、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間） | ディスカッション グループワーク プレゼンテーション 実習 |
| 11 | 「武道」「ダンス」の授業づくり（中・高） | ・内容、教材、指導法、評価法、場の設定等の観点から、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間） | ディスカッション グループワーク プレゼンテーション 実習 |
| 12 | 「体育理論」の授業づくり（中・高） | ・内容、教材、指導法、評価法、場の設定等の観点から、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間） | ディスカッション グループワーク プレゼンテーション 実習 |
| 13 | 「保健」の授業づくり（中・高） | ・内容、教材、指導法、評価法、場の設定等の観点から、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間） | ディスカッション グループワーク プレゼンテーション 実習 |

授業計画

中学校・高等学校における保健体育教育の目的・目標、役割を明らかにし、『学習指導要領』に基づく指導内容に焦点を当て授業を展開する。

| No. | 内容（担当） | 事前・事後学修 | 備考 |
|-----|-----------|---|--|
| 14 | 教師論 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員採用試験（専門教養科目）内容を参考にして、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間） | <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師になるための基礎知識 ・ 体育科教育法Q&A |
| 15 | 授業リフレクション | <ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの授業内容を振り返り、 （事前） 忘れてしまった事項等について振り返りを行う（2時間） （事後） ノートを整理し、定期試験課題に取り組む（2時間） | <ul style="list-style-type: none"> ・ 前期授業総括 ・ 試験想定問題（専門教養）の出題傾向と対策 ・ 定期試験について |

基本情報

| | |
|--------|----------------|
| 科目名 | 保健体育科教育法 |
| 時間割コード | 0440900201 |
| 開講所属 | 看護福祉学部鍼灸スポーツ学科 |
| ターム・学期 | 2023年度 第2学期 |
| 曜限 | 他 |
| 開講区分 | 第2学期 |
| 単位数 | 2.0 |
| 学年 | 2 |
| 主担当教員 | 國木 孝治 |
| 科目区分 | 卒業要件外の科目 要件外 |

担当教員情報

| |
|-------|
| 教員名 |
| 國木 孝治 |

詳細情報

| | |
|------------|--|
| 授業の目的・到達目標 | <p>【授業の目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該教科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解するとともに、『学習指導要領』に示された中学校及び高等学校における保健科教育の学習内容について、背景となる学問領域と関連させて理解を深め、様々な学習指導理論を踏まえて、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付けることを目的とする。 <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中・高生の認識・思考、学力等の実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解することができる。 ・当該教科の特性に応じた情報機器及び教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。 ・学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。 ・模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けることができる。 ・当該教科における実践研究の動向を知り、授業設計の向上に取り組むことができる。 <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <p>(全学DP)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こころ」豊かな人間性を培い、生涯に亘って専門性を追求し自己研鑽に努める能力を養う。 ・基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養しつつ、課題を探索し問題を解決できる能力を養う。 <p>(学科DP)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間を身体的・精神的・社会的存在として統合的に理解することができる。 ・幅広い教養と高い倫理観・責任感を備えている。 ・科学的根拠に基づいた論理的思考と科学的に実践する方法論を身につけている。 |
| 履修上の注意事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・中・高教職（保健体育）履修者必修科目 ・遅刻・欠席をしないこと。 ・教員志望者として、ふさわしい態度と心構えで受講すること。 ・受け身にならず主体的に学ぶ姿勢で受講すること。 |
| 評価方法 | <p>2 / 3 以上の出席者に対して定期試験を実施する。試験においては授業内容の理解度を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習態度・意欲：(20/100) ・実践力(学習指導案、 学習カード、 模擬授業実践、 実践の振り返り)：(30/100) ・試験考査：(50/100) |
| テキスト | <ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省検定教科書(2020) 中学保健体育 [令和3年度], 学研教育みらい。 ・文部科学省検定教科書(2017) 最新高等保健体育(改訂版): 高等学校保健体育科用【平成29年度版】, 大修館書店。 |
| 参考文献 | <ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省編(2017) 中学校学習指導要領(平成29年公示) 解説: 保健体育編, 東山書房。 ・文部科学省編(2018) 高等学校学習指導要領(平成30年公示) 解説: 保健体育編・体育編, 東山書房。 ・時事通信出版局編(2021) 専門教養Build Upシリーズ 「中高保健体育の完全攻略」(2023年度版), 時事通信出版局。 ・文部科学省編(2017) 中学校学習指導要領(平成29年公示), 東山書房。 ・文部科学省編(2018) 高等学校学習指導要領(平成30年公示), 東山書房。 ・杉山重利ほか編(2010) 教師を目指す学生必携「保健体育科教育法」, 大修館書店。 ・岡出美則ほか編(2021) 体育科教育学入門(三訂版), 大修館書店。 ・鈴木一行(2017) 保健科教育法入門, 大修館書店。 ・久保健(2014) 体育科教育法講義・資料集, 創文企画。 ・高橋健行(2007) 体育授業を観察評価する, 明和出版。 ・佐藤豊・友添秀則(2011) 楽しい体育理論の授業をつくらう, 大修館書店。 |

詳細情報

| | |
|-----------------------------|-----------------|
| 実務経験のある教員による授業 | 有 |
| 実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容 | ・中学校及び高等学校勤務経験。 |

授業計画

| 授業計画 | |
|--|--|
| 中学校および高等学校における保健体育教育の内、本授業では保健科教育に焦点を当て、「学習指導案」の作成及び模擬授業を主体に授業を展開する。 なお、模擬授業の実施を通して課題を見つけ、フィードバックを行う。 | |

| No. | 内容（担当） | 事前・事後学修 | 備考 |
|-----|--|--|--|
| 1 | 授業ガイダンス | （事前） ・シラバスを読んでおくこと ・1学期の復習をしておくこと | ・授業の進め方、授業評価、学校教育に係る全体像の把握 |
| 2 | 保健科教育概論 | 1) 1学期のふりかえり 2) 学校教育における保健科教育の位置づけ 3) 我が国における保健科教育の歩み 4) 諸外国の保健教育 について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながら復習に取り組む（2時間） | |
| 3 | 保健の授業をつくる ・学習目標の設定 ・学習内容の理解 | 1) 良い保健授業のイメージづくり 2) 学習目標の設定 3) 学習内容の理解 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間） | ディスカッション グループワーク |
| 4 | 保健の授業をつくる ・教材の準備 ・学習指導計画 | 1) 教材の準備 2) 授業スタイルを考える 3) 学習指導の計画を立てる （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間） | ディスカッション グループワーク |
| 5 | 保健の授業をつくる ・授業めあて ・指導観、教材観、生徒観 ・「学習指導案」づくり | 「学習指導案」の作成 ・授業のめあて ・授業到達目標 ・指導観、教材観、生徒観 ・授業進行表 について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間） | ディスカッション グループワーク |
| 6 | 保健の授業をつくる ・作成した「学習指導案」の検討と振り返り | 作成した「学習指導案」の発表と省察 （事前） 「学習指導案」の作成（2時間） （事後） 作成した「学習指導案」のふりかえり（2時間） | ディスカッション・ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習 |
| 7 | 模擬授業：中学校保健 ・健康な生活と疾病の予防 | 模擬授業の展開と省察（1） （事前） 「学習指導案」の作成（2時間） （事後） 作成した「学習指導案」のふりかえり（2時間） | ディスカッション・ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習 |

授業計画

中学校および高等学校における保健体育教育の内、本授業では保健科教育に焦点を当て、「学習指導案」の作成及び模擬授業を主体に授業を展開する。

なお、模擬授業の実施を通して課題を見つけ、フィードバックを行う。

| No. | 内容（担当） | 事前・事後学修 | 備考 |
|-----|------------------------------|---|--|
| 8 | 模擬授業：中学校保健 ・心身の機能の発達と心の健康 | 模擬授業の展開と省察（2） （事前） 「学習指導案」の作成（2時間） （事後） 作成した「学習指導案」のふりかえり（2時間） | ディスカッション・ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習 |
| 9 | 模擬授業：中学校保健 ・傷害の防止 | 模擬授業の展開と省察（3） （事前） 「学習指導案」の作成（2時間） （事後） 作成した「学習指導案」のふりかえり（2時間） | ディスカッション・ディベート グループワーク |
| 10 | 模擬授業：中学校保健 ・健康と環境 | 模擬授業の展開と省察（4） （事前） 「学習指導案」の作成（2時間） （事後） 作成した「学習指導案」のふりかえり（2時間） | ディスカッション・ディベート グループワーク |
| 11 | 模擬授業：高等学校保健 ・現代社会と健康 | 模擬授業の展開と省察（5） （事前） 「学習指導案」の作成（2時間） （事後） 作成した「学習指導案」のふりかえり（2時間） | ディスカッション・ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習 |
| 12 | 模擬授業：高等学校保健 ・安全な社会生活 | 模擬授業の展開と省察（6） （事前） 「学習指導案」の作成（2時間） （事後） 作成した「学習指導案」のふりかえり（2時間） | ディスカッション・ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習 |
| 13 | 模擬授業：高等学校保健 ・生涯を通じる健康 | 模擬授業の展開と省察（7） （事前） 「学習指導案」の作成（2時間） （事後） 作成した「学習指導案」のふりかえり（2時間） | ディスカッション・ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習 |
| 14 | 模擬授業：高等学校保健 ・健康を支える環境づくり | 模擬授業の展開と省察（8） （事前） 「学習指導案」の作成（2時間） （事後） 作成した「学習指導案」のふりかえり（2時間） | ディスカッション・ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習 |
| 15 | 授業リフレクション | ・前後期授業総括 ・教員採用試験を想定した問題（専門教養）の出題傾向と対策 ・定期試験について、これまでの授業内容を振り返り、 （事前） 忘れてしまった事項等について振り返りを行う（2時間） （事後） ノートを整理し、定期試験課題に取り組む（2時間） | |

基本情報

| | |
|--------|----------------|
| 科目名 | 保健体育科教育法 |
| 時間割コード | 0440900301 |
| 開講所属 | 看護福祉学部鍼灸スポーツ学科 |
| ターム・学期 | 2023年度 第1学期 |
| 曜限 | 月 3 |
| 開講区分 | 第1学期 |
| 単位数 | 2.0 |
| 学年 | 3 |
| 主担当教員 | 國木 孝治 |
| 科目区分 | 卒業要件外の科目 要件外 |

担当教員情報

| 教員名 | |
|-------|--|
| 國木 孝治 | |

詳細情報

| | |
|----------------|--|
| 授業の目的・到達目標 | <p>【授業の目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該教科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解するとともに、『学習指導要領』に示された中学校及び高等学校における体育実技の学習内容について、背景となる学問領域と関連させて理解を深め、様々な学習指導理論を踏まえて、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付けることを目的とする。 <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中・高生の認識・思考、学力等の実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解することができる。 ・当該教科の特性に応じた情報機器及び教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。 ・学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。 ・模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けることができる。 ・当該教科における実践研究の動向を知り、授業設計の向上に取り組むことができる。 <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <p>(全学DP)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こころ」豊かな人間性を培い、生涯に亘って専門性を追求し自己研鑽に努める能力を養う。 ・基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養しつつ、課題を探索し問題を解決できる能力を養う。 <p>(学科DP)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間を身体的・精神的・社会的存在として統合的に理解することができる。 ・幅広い教養と高い倫理観・責任感を備えている。 ・科学的根拠に基づいた論理的思考と科学的に実践する方法論を身につけている。 |
| 履修上の注意事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業回数の2/3以上の出席の無いものは、単位の修得をすることはできない。 ・遅刻をしないこと(遅刻は3回で1欠席扱いとする)。 ・教員志望者として、ふさわしい態度と心構えで受講すること。 ・受け身にならず主体的に学ぶ姿勢で受講すること。 |
| 評価方法 | <p>2/3以上の出席者に対して定期試験を実施する。試験においては授業内容の理解度を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席及び学習態度・意欲：(20/100) ・実践力(学習指導案、学習カード、模擬授業実践、実践の振り返り)：(30/100) ・学科考査：(50/100) |
| テキスト | 購入の必要無し(「保健体育科教育法」で使用した教材を活用する) |
| 参考文献 | <ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省編(2017)中学校学習指導要領(平成29年公示)解説：保健体育編，東山書房。 ・文部科学省編(2018)高等学校学習指導要領(平成30年公示)解説：保健体育編・体育編，東山書房。 ・森昭三ほか(2019)新・中学保健体育，学研。 ・和唐正勝ほか(2019)最新高等保健体育(改訂版)，大修館書店。 ・時事通信出版局編(2021)専門教養Build Upシリーズ「中高保健体育の完全攻略」(2023年度版)，時事通信出版局。 ・文部科学省編(2017)中学校学習指導要領(平成29年公示)，東山書房。 ・文部科学省編(2018)高等学校学習指導要領(平成30年公示)，東山書房。 ・杉山重利ほか編(2010)教師を目指す学生必携「保健体育科教育法」，大修館書店。 ・岡出美則ほか編(2021)体育科教育学入門(三訂版)，大修館書店。 ・久保健(2014)体育科教育法講義・資料集，創文企画。 ・高橋健行(2007)体育授業を観察評価する，明和出版。 |
| 実務経験のある教員による授業 | 有 |

詳細情報

実務経験のある教員による授業
教員名及び実務内容

・中学校及び高等学校勤務経験

授業計画

授業計画

中学校および高等学校における保健体育教育の内、本授業では体育実技に焦点を当て、「学習指導案」の作成及び模擬授業の展開を主体に授業を進める。
なお、模擬授業の実施を通して課題を見つけ、フィードバックを行う。

| No. | 内容（担当） | 事前・事後学修 | 備考 |
|-----|--|--|--|
| 1 | 授業ガイダンス | （事前） ・シラバスを読んでおくこと ・1学期の復習をしておくこと | ・授業の進め方、授業評価、学校教育に係る全体像の把握 |
| 2 | 体育実技概論 | 1) 「保健体育科教育法」のふりかえり 2) 学校教育における体育実技の位置づけ 3) 我が国における体育科教育の歩み 4) 諸外国の体育教育 について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながら復習に取り組む（2時間） | |
| 3 | 体育実技の授業をつくる ・学習目標の設定 ・学習内容の理解 | 1) 良い保健授業のイメージづくり 2) 学習目標の設定 3) 学習内容の理解 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間） | ディスカッション グループワーク |
| 4 | 体育実技の授業をつくる ・教材の準備 ・学習指導計画 | 1) 教材の準備 2) 授業スタイルを考える 3) 学習指導の計画を立てる （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間） | ディスカッション グループワーク |
| 5 | 体育実技の授業をつくる ・授業めあて ・指導観、教材観、生徒観 ・「学習指導案」づくり | 「学習指導案」の作成 ・授業のめあて ・授業到達目標 ・指導観、教材観、生徒観 ・授業進行表 について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間） | ディスカッション グループワーク |
| 6 | 模擬授業 ・体づくり運動 | 模擬授業の展開と省察（1） （事前） 「学習指導案」の作成（2時間） （事後） 作成した「学習指導案」のふりかえり（2時間） | ディスカッション・デ イベート グループワーク プレゼンテーション 実習 |
| 7 | 模擬授業 ・器械運動 | 模擬授業の展開と省察（2） （事前） 「学習指導案」の作成（2時間） （事後） 作成した「学習指導案」のふりかえり（2時間） | ディスカッション・デ イベート グループワーク プレゼンテーション 実習 |

授業計画

中学校および高等学校における保健体育教育の内、本授業では体育実技に焦点を当て、「学習指導演」の作成及び模擬授業の展開を主体に授業を進める。

なお、模擬授業の実施を通して課題を見つけ、フィードバックを行う。

| No. | 内容（担当） | 事前・事後学修 | 備考 |
|-----|-------------------------------|---|--|
| 8 | 模擬授業 ・陸上競技（または水泳） | 模擬授業の展開と省察（3） （事前） 「学習指導演」の作成（2時間） （事後） 作成した「学習指導演」のふりかえり（2時間） | ディスカッション・ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習 |
| 9 | 模擬授業 ・球技(1)：ゴール型 | 模擬授業の展開と省察（4） （事前） 「学習指導演」の作成（2時間） （事後） 作成した「学習指導演」のふりかえり（2時間） | ディスカッション・ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習 |
| 10 | 模擬授業 ・球技(2)：ネット型 | 模擬授業の展開と省察（5） （事前） 「学習指導演」の作成（2時間） （事後） 作成した「学習指導演」のふりかえり（2時間） | ディスカッション・ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習 |
| 11 | 模擬授業 ・球技(3)：ベースボール型 | 模擬授業の展開と省察（6） （事前） 「学習指導演」の作成（2時間） （事後） 作成した「学習指導演」のふりかえり（2時間） | ディスカッション・ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習 |
| 12 | 模擬授業 ・武道 | 模擬授業の展開と省察（7） （事前） 「学習指導演」の作成（2時間） （事後） 作成した「学習指導演」のふりかえり（2時間） | ディスカッション・ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習 |
| 13 | 模擬授業 ・ダンス(1)：創作ダンス・フォークダンス | 模擬授業の展開と省察（8） （事前） 「学習指導演」の作成（2時間） （事後） 作成した「学習指導演」のふりかえり（2時間） | ディスカッション・ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習 |
| 14 | 模擬授業 ・ダンス(2)：現代的なリズムのダンス | 模擬授業の展開と省察（9） （事前） 「学習指導演」の作成（2時間） （事後） 作成した「学習指導演」のふりかえり（2時間） | ディスカッション・ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習 |
| 15 | 授業リフレクション | ・前後期授業総括 ・教員採用試験を想定した問題（専門教養）の出題傾向と対策 ・定期試験について、これまでの授業内容を振り返り、 （事前） 忘れてしまった事項等について振り返りを行う（2時間） （事後） ノートを整理し、定期試験課題に取り組む（2時間） | |

基本情報

| | |
|--------|----------------|
| 科目名 | 保健体育科教育法 |
| 時間割コード | 0440900401 |
| 開講所属 | 看護福祉学部鍼灸スポーツ学科 |
| ターム・学期 | 2023年度 第2学期 |
| 曜限 | 他 |
| 開講区分 | 第2学期 |
| 単位数 | 2.0 |
| 学年 | 3 |
| 主担当教員 | 國木 孝治 |
| 科目区分 | 卒業要件外の科目 要件外 |

担当教員情報

| |
|-------|
| 教員名 |
| 國木 孝治 |

詳細情報

| | |
|----------------|---|
| 授業の目的・到達目標 | <p>【授業の目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該教科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解するとともに、『学習指導要領』に示された中学校及び高等学校における体育理論の学習内容について、背景となる学問領域と関連させて理解を深め、様々な学習指導理論を踏まえて、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付けることを目的とする。 <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中・高生の認識・思考、学力等の実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解することができる。 ・当該教科の特性に応じた情報機器及び教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。 ・学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。 ・模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けることができる。 ・当該教科における実践研究の動向を知り、授業設計の向上に取り組むことができる。 <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <p>(全学DP)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こころ」豊かな人間性を培い、生涯に亘って専門性を追求し自己研鑽に努める能力を養う。 ・基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養しつつ、課題を探索し問題を解決できる能力を養う。 <p>(学科DP)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間を身体的・精神的・社会的存在として統合的に理解することができる。 ・幅広い教養と高い倫理観・責任感を備えている。 ・科学的根拠に基づいた論理的思考と科学的に実践する方法論を身につけている。 |
| 履修上の注意事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業回数の2/3以上の出席の無いものは、単位の修得をすることはできない。 ・遅刻をしないこと(遅刻は3回で1欠席扱いとする)。 ・教員志望者として、ふさわしい態度と心構えで受講すること。 ・受け身にならず主体的に学ぶ姿勢で受講すること。 |
| 評価方法 | <p>2/3以上の出席者に対して定期試験を実施する。試験においては授業内容の理解度を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席及び学習態度・意欲：(20/100) ・実践力(学習指導案、学習カード、模擬授業実践、実践の振り返り)：(30/100) ・学科考査：(50/100) |
| テキスト | 購入の必要無し(「保健体育科教育法」で使用した教材を活用する) |
| 参考文献 | <ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省編(2017)中学校学習指導要領(平成29年公示)解説：保健体育編，東山書房。 ・文部科学省編(2018)高等学校学習指導要領(平成30年公示)解説：保健体育編・体育編，東山書房。 ・森昭三ほか(2019)新・中学保健体育，学研。 ・和唐正勝ほか(2019)最新高等保健体育(改訂版)，大修館書店。 ・時事通信出版局編(2021)専門教養Build Upシリーズ「中高保健体育の完全攻略」(2023年度版)，時事通信出版局。 ・文部科学省編(2017)中学校学習指導要領(平成29年公示)，東山書房。 ・文部科学省編(2018)高等学校学習指導要領(平成30年公示)，東山書房。 ・杉山重利ほか編(2010)教師を目指す学生必携「保健体育科教育法」，大修館書店。 ・岡出美則ほか編(2021)体育科教育学入門(三訂版)，大修館書店。 ・佐藤豊・友添秀則編著(2014)楽しい体育理論の授業をつくろう，大修館書店。 ・久保健(2014)体育科教育法講義・資料集，創文企画。 ・高橋健行(2007)体育授業を観察評価する，明和出版。 |
| 実務経験のある教員による授業 | 有 |

詳細情報

実務経験のある教員による授業
教員名及び実務内容

・中学校及び高等学校勤務経験

授業計画

授業計画

中学校および高等学校における保健体育教育の内、本授業では体育理論に焦点を当て、「学習指導演」の作成及び模擬授業の展開を主体に授業を進める。
なお、模擬授業の実施を通して課題を見つけ、フィードバックを行う。

| No. | 内容（担当） | 事前・事後学修 | 備考 |
|-----|---|--|--|
| 1 | 授業ガイダンス | （事前） ・シラバスを読んでおくこと ・1学期の復習をしておくこと | ・授業の進め方、授業評価、学校教育に係る全体像の把握 |
| 2 | 体育理論概論 | 1) 保健体育科教育法 のふりかえり 2) 体育理論 について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながら復習に取り組む（2時間） | |
| 3 | 体育理論の授業をつくる | 1) 良い体育理論授業のイメージづくり 2) 学習目標の設定 3) 学習内容の理解 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間） | ディスカッション グループワーク |
| 4 | 体育理論の授業をつくる | 1) 教材の準備 2) 授業スタイルを考える 3) 学習指導の計画を立てる （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間） | ディスカッション グループワーク |
| 5 | 体育理論の授業をつくる | 「学習指導演」の作成 ・授業のめあて ・授業到達目標 ・指導観、教材観、生徒観 ・授業進行表 について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間） | ディスカッション グループワーク |
| 6 | 模擬授業：中学校体育理論 ・運動やスポーツの多様性 | 模擬授業の展開と省察（1） （事前） 「学習指導演」の作成（2時間） （事後） 作成した「学習指導演」のふりかえり（2時間） | ディスカッション・デ イベート グループワーク プレゼンテーション 実習 |
| 7 | 模擬授業：中学校体育理論 ・運動やスポーツが心身の発達に与える 効果と安全 | 模擬授業の展開と省察（2） （事前） 「学習指導演」の作成（2時間） （事後） 作成した「学習指導演」のふりかえり（2時間） | ディスカッション・デ イベート グループワーク プレゼンテーション 実習 |

授業計画

中学校および高等学校における保健体育教育の内、本授業では体育理論に焦点を当て、「学習指導演」の作成及び模擬授業の展開を主体に授業を進める。

なお、模擬授業の実施を通して課題を見つけ、フィードバックを行う。

| No. | 内容（担当） | 事前・事後学修 | 備考 |
|-----|---|---|--|
| 8 | 模擬授業：中学校体育理論 ・文化としてのスポーツの意義 | 模擬授業の展開と省察（3） （事前） 「学習指導演」の作成（2時間） （事後） 作成した「学習指導演」のふりかえり（2時間） | ディスカッション・ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習 |
| 9 | 模擬授業：高等学校体育理論 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展(1)：歴史、意義、価値 | 模擬授業の展開と省察（4） （事前） 「学習指導演」の作成（2時間） （事後） 作成した「学習指導演」のふりかえり（2時間） | ディスカッション・ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習 |
| 10 | 模擬授業：高等学校体育理論 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展(2)：経済、環境 | 模擬授業の展開と省察（5） （事前） 「学習指導演」の作成（2時間） （事後） 作成した「学習指導演」のふりかえり（2時間） | ディスカッション・ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習 |
| 11 | 模擬授業：高等学校体育理論 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方(1)：技術、技能 | 模擬授業の展開と省察（6） （事前） 「学習指導演」の作成（2時間） （事後） 作成した「学習指導演」のふりかえり（2時間） | ディスカッション・ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習 |
| 12 | 模擬授業：高等学校体育理論 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方(2)：健康、安全 | 模擬授業の展開と省察（7） （事前） 「学習指導演」の作成（2時間） （事後） 作成した「学習指導演」のふりかえり（2時間） | ディスカッション・ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習 |
| 13 | 模擬授業：高等学校体育理論 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方(1)：ライフステージ | 模擬授業の展開と省察（8） （事前） 「学習指導演」の作成（2時間） （事後） 作成した「学習指導演」のふりかえり（2時間） | ディスカッション・ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習 |
| 14 | 模擬授業：高等学校体育理論 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方(2)：スポーツ政策、諸条件 | 模擬授業の展開と省察（9） （事前） 「学習指導演」の作成（2時間） （事後） 作成した「学習指導演」のふりかえり（2時間） | ディスカッション・ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習 |
| 15 | 授業リフレクション | ・前後期授業総括 ・教員採用試験を想定した問題（専門教養）の出題傾向と対策 ・定期試験について、これまでの授業内容を振り返り、 （事前） 忘れてしまった事項等について振り返りを行う（2時間） （事後） ノートを整理し、定期試験課題に取り組む（2時間） | |